

平成22年度（2010年度） 事業計画

—基本方針—

～地域をつくる市民を応援する共同募金への転換～

平成22（2010）年度は、昨年に引き続き道内プロスポーツチームの力強い応援を得ながら、共同募金関係者、各種団体、ボランティア、NPO等との協力・協働により、親しみやすく参加しやすい募金運動展開を進めていくこととします。

—重点目標・項目—

- I 運動要綱並びに関連規程等の改正に基づく市町村組織体制の確立
- II 共同募金運動の啓発並びに募金増強に向けた広報・広告活動の展開
- III 助成方針を踏まえた助成計画の策定並びに助成の検討

—具体的な事業項目—

（1）運動要綱並びに関連規程等の改正に基づく市町村組織体制の確立

- モデル会則の提示・会則改正に係る課題の整理と実施スケジュールの提案
- 運動の推進を目的としたモデル的な取り組みの発掘と活動支援
- 中央共同募金会企画の各種募金推進事業の実施検討
- 募金実績増に向けた改善方策協議ならびに新たな募金方法の検討

（2）共同募金運動の啓発並びに募金増強に向けた広報・広告活動の強化

- 道内プロスポーツチームの協力による啓発キャンペーン・取り組みの推進
- マスコミ媒体を利用した広告・広報活動の企画・実践
- チャリティイベント等、興行募金の取り組み促進
- HP等を利用した助成情報、各種事業への取り組み情報の積極的な発信
- 助成を受けた団体に対する広報PR活動の要請強化
- 中央共同募金会企画の各種広報事業等の実践

（3）助成方針を踏まえた助成計画の策定並びに助成の検討

- 「助成方針」、「助成要綱」の制定に基づいた助成計画策定に係る具体的な取り組み方法並びに助成事業内容の研究・検討
- 地域の課題解決に向けた社会的ニーズの検証を行うため、一般公募事業へ積極的に取り組み、その検証を通じて今後の助成対象とすべき活動の明確化
- 助成金の適正使用の指導並びに助成事業の実績、効果等の検証

（4）市町村における活動の充実強化と研修機会の提供

- 運動推進の基盤をなす市町村組織の充実整備ならびに活動強化

- 共同募金関係者研究協議会の開催
- 町村関係者研究協議会(道内8ブロック)
- 市関係者研究協議会
- 事務局長連絡協議会
- 実務担当者研究協議会
- 赤い羽根セミナー(役員・関係者セミナー)
- 共同募金運動推進に関連した中央開催セミナー等への関係者参加支援

(5) 歳末たすけあい運動の円滑、適正な実施

- 歳末の意義並びに一般助成との住み分けを意識した助成事業の検討を推進
- 運動の推進と地域における事業運営の適正化

(6) 緊急災害に即応する支援体制の整備

- 被災状況、被害規模等により迅速な「災害たすけあい(義援金募集)」の実施
- 大規模災害発生時の救援活動並びに緊急支援事業に備えた災害等準備金の積立

(7) 会務の運営(専門委員会の効率的な運営)

- 理事会、評議員会、正副会長会議の開催並びに監事監査の実施
- 各専門委員会の効率的な運営

(8) 関係機関・団体との連絡調整

- 北海道社会福祉協議会をはじめとする関係団体並びに関係機関等と各種取り組みの実施にあたり密接な連携を図る
- 中央共募、東北ブロックの各関係団体等との連絡調整を行う

(9) 民間社会福祉資金の総合的調整

- 馬主財団・JKA・その他の各種資金との連携を図りながら適正な調整並びに推薦の実施
- 共同募金以外の寄付金の受入並びに助成(助成)の実施
- 公益信託制度の普及並びに運営